



学区を巡る③（産業編）

校長 中山 明広

一昨年度は地理について、昨年度は歴史について調べてきました。今回は岸川中周辺の産業について調べてみました。

昭和30年代生まれの私にとって、根岸から前川、上青木にかけての原風景は、街並みと自然が調和した、住みやすい環境というイメージです。例えば、用水路や田でメダカやカエルを捕まえてみたり、芝川で亀を捕まえてきて自宅で飼ったりしていました。また、雑木林に基地を作って遊んだり、焚火をしてシイの実を炒って食べたりしたこともあります。子ども時代の私にとっては遊ぶところの沢山ある素晴らしい環境だったと思います。

根岸から前川・上青木にかけて、織物や染色の工場が沢山あったことを覚えています。近所の大人がそのような工場で働いたり、家で内職をしたりしていた記憶もあります。今でも、機を織る機械の音や染め物工場の匂いを思い出します。川口の繊維業の歴史は、江戸時代にまでさかのぼるそうです。『川口の歩み』（昭和58年発行）には、現在の蕨周辺から広がった織物業が、横曽根、芝、青木、前川、神根、鳩ヶ谷方面に広がったとありました。

『川口市史』（昭和59年発行）では、川口の繊維業について「現在県下有数の綿織物地帯であり、現在川口における重要な産業の一つとして益々発展している」とあります。やがて「昭和30年代以降に繊維業全体が徐々に不振になり、他の業種への転換を余儀なくされ」減少していったようです。今も、繊維に関係する会社が地域内に残っていることから、かつての盛んだった繊維業の名残を感じることができます。現在、前川一丁目にある大きなショッピングモールや根岸の新たにショッピングモールを建設している場所には、埼玉県内でも有数の繊維会社があったことは多くの皆さんがご存知だと思います。

また、自宅の近所には、釣竿の製造所がありました。職人さんが手づくりで竿を作っていました。上青木地区には、今も販売店が沢山あります。『川口の歩み』には、「川口市から鳩ヶ谷市にかけての芝川流域、町名でいえば、青木、上青木、根岸、前川地区は伝統的な竹製釣竿の産地です」とあります。その起源は、江戸時代にまでさかのぼるそうで、芝川の河川敷に自生する布袋竹を使ってつり竿をつくったと伝えられている」そうです。そもそも「青木」という地名の由来もこの竹からきているという説もあるそうです。

川口というと、鋳物や植木が有名ですが、その他にも繊維や釣竿、南平柳地区の味噌醸造業など多様な産業が発展してきた地域だということが分かります。現在の岸川中学区は、住宅と商店が立ち並ぶ地域となっています。今日に至るまで、様々な仕事に携わる人たちによって地域が守られ、学校が支えられてきました。市内でも町会行事の盛んな地域だと思います。これも多くの先人たちの地域を大切にす思いによって育まれてきたものだと思います。

【学校応援団・文部科学大臣表彰受賞（令和元年度）】

平成24年度に設置された「岸川中学校応援団」は、学校応援コーディネーターを中心に、①安心・安全、②環境整備、③学習・部活動支援に取り組んできました。具体的には、登下校時の挨拶運動や見守り活動、学校や地域のクリーン作戦、地域人材を活用した進路学習や3年生への面接練習など、様々な活動を展開しています。

一方、岸川中は「地域貢献活動」にも力を入れており、多くの生徒がボランティアとして、地域のお祭りや運動会等の行事の運営補助として積極的に参画し、地域の方とのコミュニケーションを深めています。平成30年度・令和元年度には生徒の約半数がボランティア活動に参加しています。

こうした取組が総合的に評価され、昨年度、岸川中学校応援団が「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞することになりました。

◎やっと会えました！！ ～待ちに待った登校～

6月1日（月）より登校が再開されました。12日（金）までは分散登校期間として、午前・午後で学年を分けての登校でした。分散登校期間中は、密にならないようにクラスを2つに分け、隣り合った2つの教室をタブレットPCとテレビでつなぐ「リモート方式」で授業を行いました。



主として授業を行う教員とサポートを行う教員を配し、生徒の学びに支障が出ないように配慮して行いました。

数学など一部の授業については少人数制指導とし、一人ひとりの確実な学びにつながるよう配慮しました。生徒は慣れない環境の中、久々の授業でしっかりと学ぼうとしていました。



一方で、全学年で『心と身体の健康調査』を行いました。登校の再開に際して、情緒の不安定さを感じる生徒や、学習などに関する不安を訴える生徒もいるようです。3カ月にわたる休校で、どの生徒にも目に見えない変化があるものと認識しています。面談を実施するなど、そうした生徒に寄り添っていくように努めます。各ご家庭でも見守っていただきますようお願いいたします。

☆学力の保障について☆

岸川中では、新型コロナウイルス感染症に係る臨時休校に伴う生徒の学力保障について、川口市共通の取組と合わせて次のような取組を行います。

①授業期間の延長

7月31日（金）まで及び8月24日（月）から8月28日（金）を授業日（給食あり）とします。

②土曜授業の実施

7月4日、11日、18日の土曜日に6時間の授業を行います（給食なしのため弁当の準備をお願いします）。

③月曜6校時の活用

月曜の6校時にも授業を行う日を設けます。

④学習支援室等の活用

昨年度より行っている学習支援室の体制を活用して、遅れや差がつきがちな生徒への学習支援を行います。

上記のような取り組みの他、モジュール学習（短時間の学習時間）を実施するなどして学力の保障や生徒の健やかな学びが遅滞なく進むように取り組んでまいります。

6月

15日	月	通常登校開始、50×5 学年内授業、写真撮影、3年、2年発育測定、1年委員会部活説明集会、給食開始日
16日	火	5組、1年発育測定
17日	水	50×6 学年内授業、生徒会委員会
18日	木	時間割試行開始
19日	金	
20日	土	
21日	日	
22日	月	
23日	火	
24日	水	
25日	木	正規時間割開始、1年部活動見学
26日	金	1年部活動仮入部①
27日	土	
28日	日	
29日	月	ALT（～7/3）
30日	火	1年生部活動仮入部②

7月

1日	水	生徒議会、1年生部活動仮入部③
2日	木	1年生部活動仮入部④
3日	金	1年生部活動仮入部⑤
4日	土	1年生部活動仮入部⑥、授業日50×6、火曜授業 ※弁当持参
5日	日	
6日	月	1年生部活動入部届提出×切日
7日	火	1年生部活動本入部
8日	水	生徒委員会
9日	木	
10日	金	
11日	土	授業日50×6、水曜授業、※弁当持参
12日	日	
13日	月	50×5 県学力・学習状況調査（1・2・3年）、明るい学校づくりアンケート②
14日	火	期末試験1週間前部活動中止
15日	水	

※ 7月の土曜日（4日、11日、18日）は6時間授業を行います。給食はありませんので、弁当の準備をお願いします。

学校運営協議会委員紹介

岸川中学校は平成30年度よりコミュニティスクールに指定されています。

今年度の学校運営協議会委員をご紹介します。

織田島 勇 様 野口 政昭 様 熊木 喜好 様
本橋 克巳 様 及川 修 様 平岩 弘邦 様
本橋 昭仁 様 齊藤 雅典 様 新井 絹江 様
庵地 真見 様 峰岸 ヨシ子 様 野口 秀雪 様

川口市における教科書展示会について

令和2年6月12日（金）から6月26日（金）まで、令和3年度より使用する教科書の展示会が開催されています。地域の方、保護者の方もお観覧いただけますので、ぜひ足をお運びください。

会期：令和2年6月12日（金）～6月26日（金）

時間：【平日】10:00～19:00 【土日】10:00～17:00

※最終日（26日（金））は16:00まで

会場：川口市立教育研究所3階体育館

（公共交通機関の利用をお願いします）